

「介護の日」キャンペーンのアンケート結果（応募時点）

本会では、昨年の「11月11日は介護の日」を契機に「いい日、いい日、介護の日 UDF プレゼントキャンペーン」を実施いたしました。今回のキャンペーンは7月の「UDFの日キャンペーン」同様、本会の公式LINEを使いましたが、ご応募いただいた皆様よりUDFに関するアンケートへお答えいただきましたので、この結果をご紹介します。

今回の「介護の日キャンペーン」応募者数は5,444名でした。ちなみに、「UDFの日」は5,353名でしたので、若干ではありますが「介護の日」が多い結果となりました。「介護の日」認知率の高さもあり、生活者全般の関連情報に対する感受性が高まったものと考えて良いと思われまます。

では、アンケート結果を見てみます。まず、応募者の年齢層をみると、40代28%（前回19%）、30代27%（同28%）、50代20%（同10%）、20代10%（同11%）、60代9%（同4%）、70代以上3%（同1%）、10代2%（同27%）の順であり、40代、30代の方々を中心とした応募状況でした。これは、40代、30代順位の入れ替わりはありますが、7月の「UDFの日」キャンペーンと同様の傾向でした。なお、昨年の介護の日では10代の応募が急増いたしましたが、これはキャンペーン自体をホームページを通じたオープンで行っていたためと考えられます。今回は「UDFの日」同様に、本会公式LINEへの登録を条件にしたクローズドの趣旨としたため、応募者属性が若干変化したものと考えられます。このような変化はあったものの、今回も年齢層的には幅広く周知いただけたと評価してよさそうです。

次に、UDFの認知度についてですが、これは「知っている」44%（前回65%）、「知らなかった」56%（同35%）の結果でした。これは前回と逆転の結果ですが、これも7月のUDFの日の結果と比較すると、各39%、61%であったことから傾向としては沿ったものとなりました。また、「介護者の有無」を問う設問ではそれぞれ「はい」50%（前回66%）、「いいえ」50%（同34%）と、半数ずつの結果でした（「UDFの日」では各47%、53%）。

また、「UDFの利用経験」については、21%が「あり」との回答でした（前回42%）。これを年代別にみると、30代が27%、40代20%、20代18%、50代17%、



60代16%、10代13%、70代以上3%でした。これらの方々がどなたのためにUDFを利用したかについては、祖父母37%、両親33%が多い結果でした。

UDF利用経験者の主な購入場所については、ドラッグストア44%、ネットショップ15%、スーパー14%の順でした。ドラッグストアの利用率が高いですが、ネットショップがスーパーをやや上回る結果となりました。

最後に本キャンペーンの認知機会についてみると、公式LINE43%（前回23%）、SNS広告（Facebook、Instagram）23%（同14%）、知人からの紹介11%（同12%）、懸賞サイト9%（同10%）、本会ホームページ3%（同21%）、の結果でした。公式LINEの友だち数も80,000人を超えておりますが（1月現在）、ご登録者の皆様をはじめ、多くの皆様より関心を寄せていただいております。

本会では、今後もUDFの一層の認知率向上に努めてまいります。

【会議、催事等の予定】

- 2月7日（金）令和6年度事業進捗状況報告会・特別講演会
- 2月14日（金）、15（土）JSPEN2025
- 2月17日（月）第4回普及委員会
- 2月26日（水）~28（金）メディケアフーズ展2025

【UDF商品登録状況（2,112品目・12月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	14	7	1	60	9	91
冷凍食品	322	239	784	30	0	0	1,375
常温食品	234	40	223	147	2	0	646
合計	556	293	1,014	178	62	9	2,112

【会員の異動（12月）】

新規加入会員2社：バランス(株)、(株)ファイン
計99社（12月末現在）。

©日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2
翔和神田ビル3階
TEL 03-5256-4804
FAX 03-5256-4805
<https://www.udf.jp/>